



きよはら

第129号

# 情報 きよはら



みずほの通り



ゆいの杜小学校

## 主な内容

令和2年を顧みて……………	2 P	日本橋・清原の交流について ……	6 P
ゆいの杜小学校（竣工） ……	3 P	農業大学校の活動紹介 ……	7 P
清掃活動の表彰……………	3 P	主なイベント等……………	8 P
特別委員会の活動報告……………	4 P	編集後記……………	8 P
清老連の「黄ぶなのお守り」作成・配付 ……	6 P		

## 令和2年を顧みて



清原地域振興協議会 会長 直井 重信

昨年、令和2年は令和時代の実質的幕開けとして、新たな希望と期待のもとにスタートしましたが、新年早々、突如として舞い込んできた「新型コロナウイルス」が、凄まじい感染力で、あっという間に全国各地に拡散してしまい、感染防止対策で緊急事態宣言が発出されるなど、官民挙げて取り組み、東京オリンピックの延期をはじめ、学校の臨時休校や企業・商業活動の制約など、私達の生活に多大な影響をもたらし、昨年末の感染者数が40万人に達する等、未曾有のコロナ禍の一年となりました。私達一人一人が感染防止の原点に立ち返り、

一日も早く完全収束の日を祈願したいと存じます。

清原地区においても、主要三団体（自治連・自公連・清振協）をはじめ各活動団体の総会、定例会議等が中止（書面方式に変更）になり、また地区内各イベント（きよはら飛山まつり・清原さくら祭り、清原地区文化祭・農業祭、etc）も中止を余儀なくされました。そのような中、「きよはら鬼怒川ロマンの会」では、東京都中央区日本橋との交流事業として、清原地区で採れた新鮮な農産物等の通信販売や、切り干し大根のプレゼント、鬼怒川の水運の歴史やこれまでの交流の経緯をまとめたパンフレットの作成・配布に取り組み、日本橋の皆様から大好評をいただきました。

また清振協事業として、清原工業団地総合管理協会との連携により、清原産農産物の通信販売に取り組み、こちらも購入者の皆様から大好評をいただきました。

これからのまちづくりは、市内外で人口減少化が進む中で、「選ばれる・望まれるまちづくり」をコンセプトに、その実現に向かって地域の総力を挙げて、行政と価値観を同一にして、取り組むことが重要であると考えます。

当地区は、ゆいの杜を中心に、また、LRT開業の副次効果に伴い、当面は人口増加現象が予測されることから、近未来の人口減少化前に、「市東部の拠点」としての整備が必要であり、「西の城山・東の清原」の位置づけに相応しいまちづくりが急務であると考えます。昨年は、コロナ禍の制約で進まなかったため、今年度は重点課題として検討すべきと考えています。



LRT清原工業団地北停留場



清原農作物の通信販売

## 令和3年4月1日にいよいよ開校「ゆいの杜小学校」

ゆいの杜3丁目に建設されている新設校「ゆいの杜小学校」が、約700人（24クラス）の規模で開校します。

通学区域は、ゆいの杜1～8丁目と、刈沼、野高谷、満美穴の一部です。

整備内容は、環境・省エネに配慮した鉄筋コンクリート3階建ての校舎、鉄骨造2階建ての体育館、200mトラックの校庭、野球場1面、サッカーコート1面、プールとなっています。

校歌や校章も決まり、子ども達が笑顔で登校する姿が楽しみです。



ゆいの杜小学校空撮南西



玄関周り外観

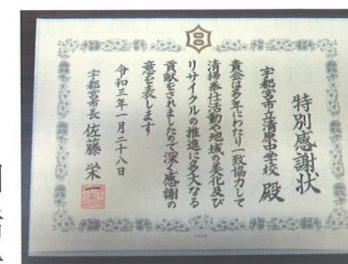
## 清原地区清掃事業協力の宇都宮市長表彰

今年度の表彰は、団体・個人を対象に3組の方々が表彰を受けました。

・個人 感謝状 阿久津 意<sup>ヨシ</sup>さん（清原台3丁目）  
ゴミステーションをはじめ歩道や空き地の除草・清掃等を行い、地域の環境美化に貢献している。（25年以上）

・団体 感謝状  
ゆいの杜刈沼リサイクル推進協議会（委員長 直井 茂男さん）  
ゴミステーション資源物の整理活動や年6年の資源品回収を行い、リサイクル意識の向上を図っている。（10年）

・団体 特別感謝状  
宇都宮市立清原中学校  
（校長 塩谷 勇直さん）  
生徒会活動として、飛山城史跡公園の落ち葉掃きや学校周辺のクリーン活動に全生徒が継続的に取り組み、地域とともに良い校風を樹立している。



清原中学校校長塩谷先生・美化委員会顧問佐藤先生・美化部長田村さん

## 令和2年度清振協特別委員会活動報告

### LRT整備特別委員会 委員長 石川 裕夫

当委員会は、6月26日の全体会議後の委員会で決めたテーマをもとに、8月6日に清原地区内に7か所できるLRTの停留場などについて市の担当者から説明をいただき、質疑・検討する中で理解を深めました。

また、10月15日に市の案内で、市民初見学の平出車両基地をはじめ、鬼怒川西側からの橋梁、清原工業団地内のレール設置状況等の工事現場を視察し、進捗状況を確認しました。

なお、9月30日(第1回)・12月4日(第2回)に開催された、清原地区内LRT停留場ごとに特色あるデザインを決めるためのワークショップには、当委員会メンバーが率先して参加し、その任に当たりました。



清原工業団地内のレール工事

### 公共交通特別委員会 委員長 間屋口 健次

公共交通特別委員会では、令和2年度事業計画に基づき、下記のとおり活動してまいりました。

- ① 国道408号と鬼怒テクノ通りを結ぶ「みずほの通り」につきましては、令和3年3月の開通を前に公共交通特別委員会で現地見学会を予定しております。国道408号バイパスと国道123号交差点、県道64号野高谷交差点の立体交差化につきましても、早期実現に向けて関係機関に働きかけてまいります。
- ② 次世代型路面電車LRTにつきましては、住民にとって利用しやすく、親しみやすい公共交通となるためには、既存バス路線の再編及び地域内交通との連携が不可欠でありますことから、市交通政策課と協調をはかり進めてまいります。
- ③ 地域内交通につきましては、「清原さきがけ号」・「板戸のぞみ号」・「清南スマイル号」が計16自治会による各運営協議会において順調に運行しているところです。未導入の自治会においては住民アンケートを実施するなど、各自治会を中心に検討が進められています。

### 安全安心なまちづくり特別委員会 委員長 石井 健二郎

#### ①各団体との情報交換

(意見) 福祉防災・防犯・交通安全・青少年育成については、各団体の自活動の尊重と情報交換を推進しました。

#### ②総合病院の誘致課題

総合病院誘致の案件は、話し合いや意見交換、市民センター長からの情報提供(宇都宮市の基準病床数に対して、既存病床数が多い為、新たな病床の設置は困難である。)を踏まえ、令和3年度は地区の医療事情の把握と医療従事者との情報交換を実施しました。

委員会でも随時会合を持って意見交換を行い、清原地区の医療に対し、安全安心なまちづくりを推進します。

### 産業特別委員会 委員長 刈部 明彦

今年度の活動はコロナ禍で思うようには進みませんでした。そうした中で清原工業団地を対象とした、清原の農産物の販売事業に一部参加しました。

来年度は、地域産業マップの制作など、今年度できなかった計画の実施を検討したいと思っています。

### 環境問題特別委員会 委員長 島田 邦夫

#### 清原の自然環境を守るために

- ① 不法投棄パトロール 清原を南部と北部に分けて毎年行っているパトロールですが、今年度はかなりの量があり、収集されるまでにかなりの時間がかかってしまいました。家庭から出た資源ごみを自治会でまとめて収益としているところもあり、参考になるのではと思います。
- ② 環境施設見学会 令和2年11月で稼働が終了するという事で、今後の対応も含めお話を伺おうと、一般廃棄物最終処分場「エコパーク板戸」の施設見学会を実施しました。

埋立てエリアは地盤が沈むこともあり、ガス抜きをしつつ5年間は現状維持だそうです。また、そこには防水シートが敷かれるため、建造物は出来ないということでした。調整池の水と環境の保全については、20~25年間程度業者が行うとのことでした。



環境施設見学会(エコパーク板戸)



不法投棄パトロール(南部)

### 施設整備特別委員会 委員長 伴 実

今年度の活動計画は、「飛山城史跡公園の櫓再建・城址案内標識の整備」「水辺の楽校の活用」「サイクリングロード及び歩道橋の再整備」「清原中央公園内の施設整備」でしたが、特に、今期から注力し活動を予定しておりました「飛山城史跡公園の櫓再建」について推進出来なかったことが残念です。

飛山城は、天将18年に豊臣秀吉が北条氏を滅亡させた時期に廃城となったもので、同時期に廃城となった坂東市の逆井城では、現在、数棟の櫓が復元され城址公園として賑わっていることから、飛山城史跡公園においても、清原のまちづくりのシンボルタワーとして櫓の復元を目指して行きたいと思っています。

### 清老連が「黄ぶなのお守り」の作成・配布で疫病退散を祈願

清原地区老人クラブ連絡協議会（会長 野澤 昭平）では、新型コロナウイルスの1日も早い収束を願って、有志により、折り紙で千匹の黄ぶなを作り、全会員に配布しました。

会員の皆様からは、「ありがとう」「これからも元気で頑張ります」などの声が多数ありました。

清老連の皆さんが大好きなスポーツや歌を楽しみ、生き生きと活動できる日が、一日も早く来るよう、願っております。



作業風景



清老連役員会

### コロナ禍における東京都中央区日本橋との交流事業

きよはら鬼怒川ロマンの会におきましては、江戸時代に盛んであった「鬼怒の水運」を背景に、東京都中央区日本橋の皆様と現在も交流を続けております。これまで、5月初旬には日本橋小学校における田植え、7月中旬には日本橋・清原の少年サッカー交流試合、10月下旬には「日本橋・清原ふれあい祭り」において、きよはらの農産物を販売するなど、年間を通じて絆を深めてところでありますが、今年は新型コロナウイルスの影響により、すべての交流事業が中止になりました。

そこで当会では、コロナ禍においても双方の住民が互いの地に思いを馳せられるよう、この度、日本橋と清原の「鬼怒川水運の歴史」や「これまでの交流の経過」をまとめたパンフレットを作成いたしました。

パンフレットは、日本橋小学校の全児童、清原地区の小学校5年生に配布いたしました。



パンフレットの表紙

### 栃木県農業大学校活動紹介

栃木県農業大学校（上籠谷町1145-1）は、今年度で創立115年となり、これまで約1万2千人の卒業生を送り出しております。地域の皆様には、実習や見学などで大変お世話になっております。昨年は残念ながら農大祭にお招きできませんでしたが、例年多くの方々に御来校いただいております。誠にありがとうございます。

さて、最近の農大の動きをいくつか御紹介します。清原地区の皆様もドラマなどで無人走行のトラクターを御覧になったことがあると思います。農大でもスマート農業（ロボット技術やICT(情報通信技術)等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする農業）や、GAP（ギャップ:農業生産工程管理）などに取り組み未来の担い手を育てています。

特に、ここ数年トマト高軒高ハウス、ICT技術を装備したドリーム牛舎、ねぎ・たまねぎの機械化フルセットとともに整備した次世代型園芸人材育成施設（育苗施設、調整施設）と主要な施設を整備して参りました。

また、現在最もホットな話題としては、令和3年度にいちご学科を創設することです。本県の農業はもとより県のイメージ戦略にも使われる「いちご」に特化した学科を創設し、即戦力となるいちご経営者を育て、ひいては将来、産地や地域のリーダーになり得る人材を輩出したいと考え、先進経営での実習を多く設定したり、ゼミ形式の授業により課題解決能力を高めるなど新たな取組を取り入れて参ります。

農大のテーマとして、学生向けには「農業を志す若者の心に火を付けろ」、外部向けには「開かれた農大」を掲げております。コロナ禍で開かれた部分が展開できない1年でしたが、地域と連携した取組を状況を見極めつつ順次再開し農大をよく知っていただくとともに、清原地区を仮想農場のようなイメージで実習などでも地域に出ていきたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



ドリーム牛舎と園芸施設群



野菜専攻実習でのいちご管理作業

# 清原地区の今後の主な行事

詳細については、都度の回覧等で確認してください。

日時	行事	場所
3月28日(日)	宇都宮清原クリテリウム	清原工業団地周回コース(清原球場南側付近) 無観客
3月29日(月)	卒業生に文化祭まるごとプレゼント	宇都宮市文化会館大ホール 11:00▶20:35 清原中学校から12名参加、16時30分頃 関係者のみ入場可能(観覧者は総入れ替え) 展示室/作品展 11:00▶16:00

## 新名称 みずほの通り (市道5340号線)



上籠谷町地区内 408バイパスを望む  
令和3年3月26日開通予定

### 編集後記

今年は新型コロナウイルス感染防止を図りながらの活動になりました。各種のイベントが少ない中、いくつかの明るい話題もありました。来年度は、ワクチン接種によるコロナの収束を期待しながら新しい生活様式と共にイベント等を含む活動を行いたいです。

### 清原地区の人口

【令和3年2月末日現在の人口】

総世帯数 13,622世帯  
総人口 30,705人  
(男16,244人 女14,461人)

※この情報誌はすべて音声訳されております。  
(清原アクセス)  
※本紙及びまちづくりについてのご意見等を下記あてにお寄せください。

## 清原地域振興協議会

(事務局：清原地区市民センター内 TEL667-5696)  
(E-mail：tp\_kytik@sea.ucatv.ne.jp)

発行責任者 直井 重信  
編集 情報きよはら編集委員会  
印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷